

ホームページ http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm http://kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp/

# 平成22年1月 第51号

TEL 0797-71-2132 FAX 0797-74-1430

# 最近の話題: "新" 医療政策

民主党が政権を奪取し、鳩山由紀夫氏が首相に就任してから 3ヶ月を越えました。アメリカでは大統領選後の100日間 は"ハネムーン"期間として、議会もマスコミも大統領の行 動を暖かく見守るそうです。さて鳩山首相のハネムーン期間 はようやく終り、これからはシビアに政権担当能力が問われ る訳ですがいかがでしょうか。これまでの鳩山首相の言動を みる限りでは、この方はじっくり考えてから行動をするタイ



プの様です。このタイプの方は言葉も選びますので問題発言をされることは少な いのですが、行動までに時間がかかり、結果として優柔不断となりがちです。新 聞報道では、特に沖縄の「普天間」問題で首相の発言がぶれているようで、日米 安保の行方は気になります。さて医療に関してですが、来年度は10年ぶりに医 療費(診療報酬)が増額されることが決定されました。財務省は強硬に引き下げ を主張し、引き上げを主張する長妻大臣が率いる厚生労働省と鋭く対立していま したが、最後はようやく首相が指導力を発揮したようです。自民党の小泉政権時 代、「構造改革」の美名のもとに社会のセーフティーネットの多くが削減・抑制 されました。医療費はその象徴で、ずっと削減が続けられました。もちろん無駄 を削るのは結構なことですが、どうも小泉政権は大企業を中心とする経済界と共 に医療費自体が社会にとって無駄な出費と考えていたかのようで、必要なものま で容赦なく削減されました。その結果はどうでしょう。各地で産科が閉鎖されま した。実家に帰ってお産をする・・・こんな贅沢はもう不可能です。対応できる 産科がありません。生まれた子供はどうでしょう。急病だ、でも小児科医がいな い・・。この冬のようにインフルエンザが流行すれば5時間6時間待ちは当り前 です。入院した場合はどうでしょう。もっとリハビリを受けたい、もう少し良く なるまでおいていて欲しい・・・3ヶ月で退院です。これが過去10年間の構造 改革の"成果"です。平成22年度予算では産科・小児科・救急などの入院に重 点的に予算があてられるそうです。何とか医療崩壊を食い止めねば・・・医療に 携わる人間は皆そう思って頑張っています。

### 病気の知識:肺の病気: 4 COPD

COPDとは聞き慣れない言葉ですが、これは慢性閉塞性 肺疾患という病名で、慢性気管支炎と肺気腫の二つが様々





に合わさったものです。咳・痰・息切れなどが主な症状で、最大の原因は喫煙で す。煙草を吸い続けることによって肺の組織が壊れていくのですが、煙草を吸わ ない喫煙者の家族が受動喫煙でCOPDになることも稀ではなく、喫煙者は自分 だけでなく家族も危険にさらしている訳です。COPDに対しては気管支を拡げ る薬や痰を出し易くする薬、肺の炎症を和らげる薬などを用いますが、一番大切 なのは禁煙です。さあ煙草も値上がりすることですし、禁煙してみませんか?

①皆様、新年あけましておめでとうございます

昨年中は御来院の皆様には大変に御贔屓にして頂き、誠にありがとうございました。今年も誠心誠意、医業に励んでいきますのでどうか変らぬ御愛顧をお願い申し上げます。さて、今年で私がこの医院を引き継いで10年目に入ります。10年一昔と申しますが、10年前といえば私はまだ34歳、今よりも大分スマートでした。この10年、ちょっとずつ肥えていって、今



ではメタボ真っ盛りで相撲取りと見まがう程ですが、幸い大きな病気で休診することもなく、医業を続けてこれたのは御来院の皆様のお陰でございます。改めて感謝致します。右上は今年かかりつけの患者様に私がお出しした年賀状です。日本は今元気がありませんが、今年は何とかいい年になってもらいたいものです。どうか宜しくお願い致します。 院長 合田 潔

②新型インフルエンザワクチン

新型インフルエンザワクチンに関しましては、皆様に大変に不安な 思いを抱かせ、また不自由を強いてしまい、誠に申し訳ございませ ん。何分ワクチンの供給量が極めて少なく、全て国(厚生労働省) および県(兵庫県庁)の意向に従わなければなりません。接種に関 しては厚生労働省より優先接種基準のマニュアルが配布されており

これに則って順番に接種をしている次第です。昨年末に宝塚市の小児科医院での接種順番無視の問題がマスコミで報道されましたが、なかなか融通をきかすという訳にはまいりませんので御了承をお願い申し上げます。なお最近になってワクチン供給に少し余裕がでてきたようですので、今後はスケジュールを前倒しして、優先接種以外の65歳以上の高齢の方やそれ以下の一般の方にも順次接種が行なわれる予定です。

③レントゲン撮影に関して

当院では、レントゲン室に設置したモニター及びインターホンにて 患者様の状態を院長が随時確認し、看護師による撮影準備の後に、 <mark>診察室にて院長が遠隔操作でレントゲン撮影を行なっております。</mark> 先々代院長時に設置した当院独自のシステムです。

# 新規処方薬情報:① アドエア

2年半に渡って連載を続けました「介護保険あれこれ」は前号で終了しました。今号より新企画として「新規処方薬情報」を始めます。最近当院で処方し始めたお薬を御紹介します。第一弾はアドエア。このお薬は気管支を拡げる作用を持つ長時間作用型吸入β2刺激剤と炎症を抑える作用を持つ吸入ステロイド薬を一つにまとめたもので、喘息やCOPDの治療薬として世界中で使われています。最近喘息は気管支の慢性の炎症が原因



と考えられており、口から吸入するステロイド薬が治療の主体になりつつあります。アドエアは炎症を抑えるのに加えて気管支を拡張させる働きもあり、一剤で両方をカバーしているのが特徴です。喘息のみならずCOPDでも効果が認められていますので、特に煙草をよく吸われる方で咳・痰が続く場合は一度お試し下さい。院内に常備はしておりませんので処方箋でお出しします。



# 合田外科新聞

SC ホーム/ ブログ

ホームページ http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm プログ http://kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp/ 平成22年4月 第52号 合田外科

TEL 0797-71-2132 FAX 0797-74-1430

# 最近の話題:診療報酬改定

日本は国民皆保険制度をとっており、基本的には国民全員が保険証を持ち、どこでも、いつでも医療を受けることができます。保険が適応される治療には日本全国で同じ公定の価格が定められており、この価格が診療報酬と呼ばれるものです(但し、保険が適応されない美容整形や歯科の一部などは自費診療として価格設定は自由であり、中には法外な治療費を要するものもあります)。診療報酬は非常に細かく定められ



ており、2年毎に改定を受け、古い治療行為は削除され、また新しい治療行為が 加えられ、常にアップデイトしています。さて、この4月に民主党政権になって 初めての診療報酬改定が行なわれましたがいかがでしょうか?小泉元首相による 「骨太の改革」によって、2002年度以来、医療費は一貫して抑制され続けて きました。混合診療の解禁/株式会社の医療参入/保険免責制度の導入・・・こ れらはオリックスの宮内氏を筆頭とする市場原理主義者の画策でしたが、彼等の 「貧乏人はいい医療を受けたければ家を売れ。」という発想には唖然としてしま いました。幸いアメリカ流低福祉社会への流れはかろうじて阻止されましたが、 締め付けられ過ぎた医療は崩壊寸前となりました。かつてイギリスで同様の医療 費削減策が行なわれましたが、結果は悲惨で、救急で運ばれても48時間廊下で 待たされたり、癌の手術で1年待ちになったりと医療はボロボロになってしまい ました。あわてて医療費を増額しましたが一度綻んだものはなかなか元には戻り ません。今回の診療報酬改定では特に痛みの激しい病院(入院)部門に比較的手 厚くなっています。医師の外科離れに歯止めをかけようと、手術料は大幅アップ となりました(私のような開業の外科医には無関係ですが、大きな手術でも今ま では極めて低い価格しかついていませんでした)。また出産や新生児を診る周産 期医療も、早産などリスクの高い妊産婦の入院や救急受け入れ、新生児集中治療 室(NICU)の管理料が大幅に引き上げられました。反面、開業の医師にはこ れまでと同様の厳しい結果で、再診料も下がり、いいところはありません。しか しこれも日本の医療を立て直すためです。受け入れましょう。

# 病気の知識:食道の病気:① 逆流性食道炎

逆流性食道炎は、胃の内容物(主に胃酸)が食道に逆流するために起こる食道粘膜の炎症です。逆流性食道炎の発生部位は食道と胃のつなぎ目(食道胃接合部)に多く、進行すると潰瘍を生じ、そこからの出血や食物通過障害(狭窄)が起こります。最も多い症状は、食後2~3時間で起こる胸やけです。これ以



•10%•

外にも、<mark>げっぷ・胸の痛み・つかえ感・異物感・喘息に似た咳</mark>など多くの症状が現れます。胃酸を抑える P P I という薬がよく効きますので、このような症状でお困りの方はお気軽に相談して下さい(院長も患っています)。

#### ①診療時間外に関して

本年4月の改定で「地域医療貢献加算」という項目が設定されました。これは24時間常に電話にでる体制をとっている診療所に対してのもので、この加算を算定している診療所では再診料が若干高くなります(3点=30円)。今回、このような改定が行なわれたのは、時間外の病院への



受診を抑制し、診療所に対応させようという政策的意図によるものです。但し現場を知らない厚生官僚による絵空事ですので、実際問題として対応は極めて困難です。というのも大部分の診療所には医師が1人しかおらず、例え電話の転送サービスを利用したとしても、問い合わせに対して24時間1人で対応するのは不可能だからです(特にかかりつけ以外の方の場合には普段の病状が判らず、またカルテもないので対応はできません)。当院では診療以外でも院長が医師会理事として学校検診や市民大学・市民講座などに多大な協力をしており、地域に貢献しているとの自負はありますが、現時点では「地域医療貢献加算」は算定致しません。従って再診料も安いままです。かかりつけの患者様で診療時間外において緊急に御用件がおありの場合には、当院の電話(☎0797-71-2132)におかけの上、留守番電話に御名前・電話番号・御用件をお話し下さい。院長の携帯電話に留守番電話内容を転送し、後ほど対応させて頂きます。(但し、時間外診察料「電話再診料」は生じますので御留意下さい。)

#### ②医師異動に関して

土曜日に当院 2 階で行なっている神経ブロック(ペインクリニック)は青木彰先生と木下修先生に分担して担当して頂いておりましたが、3月末にて木下先生は退任されました。木下先生の後任として兵庫医科大学ペインクリニック部より森山萬秀先生が赴任され、第2・第4週の土曜日に引き続き神経ブロックを行なって頂きます。御来院の患者様におかれましては御了承



下さい。なお、青木先生は引き続き来院され、第1・第3・第5週の土曜日に神経ブロックを行なって頂きます。

### 新規処方薬情報:② ジャヌビア

最近、糖尿病に対して新しいタイプの飲み薬が開発され、つい先日より日本でも処方できるようになりました。DPP4阻害薬と言われるカテゴリーの薬剤で、いくつかの種類が発売されていますが、当院では万有



製薬の「ジャヌビア」を採用し処方しています。糖尿病は様々な合併症を引き起こす病気です。視力をおかされ失明したり、腎臓障害の為に透析を余儀なくされたり、また心臓や脳などの血管障害(心筋梗塞・脳梗塞など)を起こします。今までは飲み薬で糖尿病がうまくコントロールできない場合にはインスリンの注射を考えなければなりませんでした。この薬はインスリンにとってかわるものではありませんが、今後は注射の前に新たな選択肢が増えた訳です。副作用も比較的少なく、特に糖尿病の治療で問題になる血糖値の下がり過ぎ(低血糖)が起こりにくいと言われており、これから広く使われることになると思われます。



ホームページ http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm http://kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp/

平成22年7月 第53号

TEL 0797-71-2132 FAX 0797-74-1430

# 最近の話題:医療ツーリズム(メディカル・ツーリズム)

医療ツーリズムという言葉をご存知でしょうか?最近、 時々新聞にも載るようになってきましたが、要は「医療 を受ける目的で他国へ渡航すること」です。海外では以 前よりこのようなことが行われていました。例えばアラ ブの富豪など発展途上国の富裕層は、自国の医療水準が 低いために、最先端の医療技術やより良い品質の医療を 求めて欧米などの先進国に医療を受けに行っています。



またイギリスでは手術などの待ち時間が1年以上におよぶこともあり、待機時間 の解消を目的に渡航するケースが多い様です。更にアメリカでは自国での治療費 が高額であるため、従業員の医療保険を負担する企業などの雇用者側が、医療費 の低い他国での治療を推奨しているそうです。2008年には世界で600万人 が医療ツーリストとして他国に医療を受けに行っています。さて、日本ではあま り馴染みがない医療ツーリズムですが、実は色々なことが画策されています。首 謀者は経済産業省で、昨年から今年にかけて外国人顧客を日本に招き、健診・人 間ドックを行う調査事業を行っています。ここで注意して頂きたいのは、顧客と いう呼び方で、決して患者様(あるいは患者さん)とは呼んでいません。経済産 業省、ひいては経済界にとって大事なのは、病んでいる"患者"ではなく、お金 を落としてくれる"顧客"なのです。さあ魂胆が見えてきました。「医療を成長 産業にしてばんばんお金を稼ごう!!外国から金持ちを大勢連れてきて、日本の 先進医療をどんどん受けさせよう!!きっと儲かるに違いない!!」一儲けしよ うという企業が雪崩れ込んでくることでしょう。すでに準備を始めている旅行会 社もあるようです。でもよく考えて下さい、金払いのいい外国人が大挙して押し 寄せて来る未来を。日本人の患者はどうでしょう?後回しになりませんか?「全 額自分で払うから優先的に診て欲しい。」こんな人もでてくるでしょう。お金を 払えない人はどうなります?もっともっと後回しですか?事実、医療ツーリズム で有名なタイの先進病院では地元のタイ人は診てもらえません。お金が払えない からです。日本もこんな風になっていくのではと危惧しています。

# 病気の知識:食道の病気:② 食道がん

漫画家の赤塚不二夫さんは食道がんでお亡くなりになりまし た。この方は強いウイスキーをストレートで飲み続けていた 様ですが、このように食道がんは男性に多く、喫煙や飲酒と



関係しています。初めは症状はありませんが、次第に物を飲み込む時にし 飲み込みにくくなってきます。咳が出たり声が嗄れる場合もあります。治療は手 術を主体に抗がん剤や放射線など組み合わせますが、進行していると治すのは難 しくなります。症状が出てから発見されるのは殆どが進行がんなので、飲酒や喫 煙をよくされる方は定期的に内視鏡検査を受けて早期発見を心がけて下さい。

①熱中症に気をつけましょう!

今年も暑い季節がやって来ました。この時期に気をつけな ければならないのが「熱中症」です。気温が高い時や、激 しい運動などで体内にたくさんの熱が発生すると起こり易 いのですが、時には屋内でじっとしていても起こることが あります。症状は軽い場合には手足の筋肉に痛みを伴う痙 攣が起こる程度ですが、ひどくなると目眩・頭痛・嘔吐な どが起こったり、極端な場合には意識をなくして死亡する



こともあります。日本では熱中症は7月・8月の午後に多く発生します。日射 しが強く気温が高い時はできるだけ戸外の活動は控えるようにしましょう。ま た高齢の方はクーラーをかけるのを嫌がられることが多いのですが、適度に屋 内を冷却するのも重要です。トイレに行く回数が増えるからと水分をあまり摂 らない方もいらっしゃいますが、これは非常に危険です。おしっこの回数が増 えるのは仕方がないと思って水分を摂るようにして下さい。

②お盆休みに関して

お盆の休診に関しては、例年通り8月13日・14日・15日の3日間とさせ て頂きます。ご来院の患者様には大変にご迷惑をおかけ致しますが、宜しくご 了承お願い申し上げます。

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14
休み	診療	診療	診療	診療	盆休み	盆休み
8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21
休み	診療	診療	診療	診療	診療	診療

③合田外科ブログに関して

ブログ(GODA SURGICAL CLINIC)毎日更新しています。 是非ご覧になって、コメントをお願い致します(URLは一面参照)。

### 新規処方薬情報:③ クラビット(500mg)

クラビットは以前から当院でも処方している抗生剤ですが、従 来は100mgの錠剤を1日3回服用するように処方してきま した。もちろんこれは製薬メーカーの添付文書に従った正規の 服用方法です。クラビットは抗菌力が強く、この様な服用方法 クラビット 500mg DSC731



で十分に効果がありましたが、最近この薬は低用量(100mg)のものを日に 3回と分けて服用するより、高用量(500mg)のものを1日1回服用する方 が効果が強いことが判り、100mg錠は販売中止となり500mg錠が販売さ れるようになりました。当院でも500mg錠を新規に採用しておりますが、錠 剤が非常に大きく、また抗菌力も必要以上に強い場合がありますので、重症の感 染症の方に限って処方致します。従来100mg錠を用いていた膀胱炎などでは ジェネリック薬品として成分が同じレボフロキサシン錠(100mg)を新たに 採用しておりますので、こちらを処方致します。



ホームページ http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm http://kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp/

# 平成22年10月 第54号

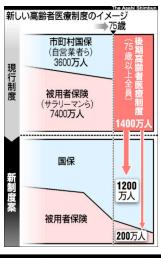
TEL 0797-71-2132 FAX 0797-74-1430

#### 最近の話題:新高齢者医療制度

現在の「後期高齢者医療制度」は2008年度、自公 政権時代に導入されました。高齢者の医療制度をどう するか、25年越しの議論の結果、75歳以上の高齢 者を他の保険から切り離した独立した集団とし、負担 と給付の明確化や全高齢者による負担などを謳ったも のでしたが、ご承知の様に導入直後から強い批判が**噴**▮ 出しました。所得の低い方の保険料が急上昇したこと や年金から天引きされたことなどに加えて「後期高齢



者」という名称が「姥捨て山」を連想させ、高齢者の神経を逆なでしたことが大 きな原因と思われます。当時の政府はあわてて「長寿医療制度」と呼び名を変え ましたが効なく、昨年9月の政権交代につながる遠因となりました。政権交代を 果たした民主党は公約で「後期高齢者医療制度」の廃止を訴えました。現在新し い高齢者の医療制度が検討されており、2013年度から導入予定となっていま す。現時点ではまだはっきりとしたことは示されていませんが、大きな方向とし ては75歳以上を一律に扱わず、サラリーマンは勤務先の健康保険に、子供の扶 養家族は子供の勤務先の健康保険に、また無職で扶養家族でない人や自営業者は



国民健康保険(国保)に加入することになります。国保に移 る人が1200万人と大部分を占める見込みですが、問題点 はどこが保険運営の主体になるかということです。現在、後 期高齢者医療制度は市町村による「広域連合」が運営してい ますが、実体のない組織であり、責任が不明確であると言わ れています。また国保は市町村が運営していますが、特に規 模の小さい所では財政基盤が不安定で赤字が深刻です。国は 高齢者の財政を別建てにして都道府県に運営を任せたい様で すが、負担増を危惧する都道府県側は及び腰です。一筋縄で はいかない難問ですがもう時間がありません。何とか多くの 方々が納得し安心できる制度になってもらいたいものです。

#### 病気の知識:胃の病気:① 胃潰瘍

胃潰瘍は胃の内側の粘膜に傷ができた状態です。浅い傷はび らんと呼ばれますが、ある程度深い傷になると潰瘍という名 が付きます。空腹時の腹痛が特徴的な症状で、物を食べると 痛みは和らぎます。昔は有効な治療法がなく、吐血や胃穿孔



による腹膜炎で緊急手術も稀ではありませんでした。しかし30年程前に胃酸を 抑えるH2ブロッカーという薬剤が登場し薬で治る病気となりました。近年では 手術に至る例は殆どありません。更にピロリ菌の発見で胃潰瘍は感染症が原因で あることが分かり、現在では菌をやっつける除菌療法が主となっています。

①インフルエンザワクチンのお知らせ

まり強くはなく、足りない足りないと騒がれていたワクチンも 最後には大量に余ってしまいました。お亡くなりになられた方 には大変にお気の毒ですが、何はともあれあのくらいの騒動でおさまったのは 僥倖でした。強毒性のインフルエンザが発生する可能性は依然あり、完全に安 心とはまだまだ言えませんが一息はつけたようです。さて今シーズンのワクチ ンですが、量は充分に確保されており、昨年の新型インフルエンザワクチンの ようなことにはなりません。とはいえ、後になればなるほど品薄にはなってき ますので早目に接種するようにしましょう。従来のワクチンは季節性に対する ものと新型に対するものと別個でしたが、今回のワクチンは季節性インフルエ ンザ/新型インフルエンザの両方に対して効果のある3価ワクチンと言われる ものです。ですから既に新型インフルエンザワクチンを接種された方ではより 防御力を強化することができますし、また接種されていない方ではわざわざ別 に接種する手間を省くことができます。しかも値段は従来と変わりません。表 はワクチンの料金表です。65歳以上の宝塚市民(あるいは西宮等の近隣市に お住みで市役所で証明書をもらってきて下さった方)は従来通り1000円の 負担金で接種を受けることができます。また60歳以上で特定の疾患をおもち の方(身体障害1級等)の場合には1000円で接種可能なことがあります。 詳しくは当院の受付までお気軽にお尋ね下さい。65歳未満の方は原則として 表のように実費となりますが、市民税非課税世帯の方は市役所等で証明書を発

インフルエンザワクチンの季節がやって来ました。今年は例年 より少し早く10月1日より接種開始です。昨年は新型インフ

ルエンザで大騒動でした。幸い新型インフルエンザの毒性はあ

	お一人	お二人以上	接種回数
65歳以上(市民)	1000円/人	1000円/人	1回
13歳以上65歳未満	3500円/人	3000円/人	1回
13歳未満	3000円/人	2000円/人	2回

行してもらい、持参して頂ければ、 負担金1000円 の割安で接種を受けることが可能です。

# 新規処方薬情報:④ メプチンエアー

メプチンエアーは気管支喘息の吸入治療薬として以前よりよく用いられてきた薬剤です。ですから新薬ではありませんが、最近吸入器にカウンターが付いた物が販売されるようになり、当院でも従来の物から切り替えました。喘息は非常に苦しい病気で、発作が生じると呼吸が困難となり、ひどい場合には窒息死することもあり得ます。事実、つい20年程前までは年間7000人位の方



が喘息で死亡されていました。メプチンエアーは発作の時に狭くなった気管支を拡げて呼吸を楽にさせる薬剤でとてもよく効きますが、副作用も比較的強く、使い過ぎは禁物です。カウンターが付くことで残量や使用回数が把握できるようになり、より上手く使えるようになるのではないでしょうか。ただしこの薬剤は喘息の原因である気道炎症に効果があるわけではなく、あくまで対症的療法的な薬です。これだけでは喘息の治療として不十分なことをよく覚えておいて下さい。



第55号

平成23年1月

ホームページ http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm http://kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp/

TEL 0797-71-2132 FAX 0797-74-1430

### 最近の話題:児童虐待

最近、児童虐待事件がマスコミで盛んに報道されてい ます。昔からあったものが表に出てくるようになった のか、絶対数自体が増えているのかは定かではありま せんが、痛ましい事件が多く、小さな子供が亡くなっ たり、重傷を負ったりしています。児童虐待は保護者 が監護する18歳未満の児童に対して行う行為と定義 されており、①身体的虐待:叩く、激しく揺さぶる、 煙草の火を押し付ける等、②性的虐待:猥褻な行為を



する、あるいはさせる等、③ネグレクト(育児放棄・監護放棄):食事を与えな い、駐車場にとめた車の中など危険な場所に長時間放置する等、④心理的虐待: 暴言を浴びせる、目の前で夫婦間暴力(DV)をすること等に分けられます。少 し古い調査ですが、厚生労働省の資料によると平成18年度の全国の児童相談所 における児童虐待相談対応件数は3万7千件で、身体的虐待が最も多く1万5千 件余り、次いでネグレクトが1万4千件余りだったそうです。虐待されていた児 童の年齢は0-3歳未満が17%、3-学齢前が25%、小学生が39%、中学 生が14%、高校生・その他が5%となっています。虐待を行っていたのは63 %が実母、25%が実父であり、義父・義母は合わせて8%でした。保護者の教 育歴や経済状況が虐待の有無と関係していると言われています。我が国では平成 12年に「児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)」が制定され、更 に平成16年の改正にて「関係省庁相互間その他関係機関および民間団体の間の 連携の強化、民間団体の支援その他」を行い、児童虐待の防止の為に必要な体制 の整備に努めなければならない旨が明文化されています。またつい先日には法務 大臣の諮問機関である法制審議会の部会が親権を一時的に停止できる制度の新設 を提言しており。政府はこれに基づいて、来年の通常国会に民放改正案を提出す る方針であるなど児童虐待に対して本格的に取り組む体制が整いつつあります。 宝塚市では児童虐待は家庭児童相談室が担当していますので、児童虐待を発見し した場合には速やかに連絡して下さい(20797-77-9111)。

### 病気の知識:胃の病気:②胃癌

胃癌は日本や中国・韓国などのアジアや南米に多い癌で、欧米 にはあまりありません。日本でも昔は胃癌が癌の中では最も多 かったのですが、最近は年々胃癌による死者数は減ってきてい ます。胃潰瘍の原因であるピロリ菌が胃癌にも関係していると



考えられています。早期の胃癌に特徴的な症状はあまりありませんが、進行する と胃部痛や嘔気、また体重減少や貧血が現れてきます。検査は胃力メラが必須で す。最近は胃カメラを使った治療法が発達し、手術をしなくてもすむ場合も増え てきましたが、まだまだ油断のできない癌です。定期的に検査を受けましょう。

①皆様、新年あけましておめでとうございます

昨年中は御来院の皆様には大変に御懇意にして頂き、誠にありがとうございました。今年も誠心誠意、医業に励んでいきますのでどうか引き続き宜しくお願い申し上げます。さて、10年一昔と申しますが、私が合田外科で診療を始めて丁度10年が経ちました。10年前の2001年といえばアメリカで同時テロが起こった年ですのでもう随分と昔です。この10年の間には色々なことがありましたがあると感謝しております。またこの間には多くの患者様と出会い、様々なことを勉強させて頂きました。まだまだ不十分ではありますが、日々学びながら次の10年・20年とがんばっていきたいと思っておりますので、これからもどうか宜しくお願い致します。院長



#### ②インフルエンザ

今シーズンは昨シーズンとは異なり、原稿執筆時点(2010年12月末)ではまだインフルエンザはさほど流行していません。当院には散発的にA型の大人の方が来られ、また市内の小児科の先生のお話では子供でB型がでているそうですが、学級閉鎖も広がってはいません。昨シーズンに猛威をふるった新型インフルエンザも今のところはでていないようです。しかし年をあけるとおそらく季節性のインフルエンザは増えてくると予想されますので気を付けて下さい。予防接種をされた方も基本的な手洗い・うがいは忘れないようにしましまっ。なおインフルエンザの予防接種は1月31日までとなっております。今年はまだワクチンに余裕がありますので、接種がお済みでない方は早目にお申し出下さい。

#### ③新任看護師のお知らせ

2010年9月で長年に渡り看護師として勤務された藤原さんが退職され、新たに10月より森さんに来て頂いております。不馴れな点もあるかと思いますが、皆様どうか宜しくお願い申し上げます。

# 新規処方薬情報:⑤ ロゼレム

最近、今までのものとは全く異なる新しいタイプの睡眠薬が武田薬品より販売されました。これはメラトニンの受容体に作用し、自然に近い生理的睡眠を誘導する薬剤です。メラトニンは脳の中の「体内時計」という睡眠・覚醒を調節する部位に存在し、昼・夜でメラトニンの量が変わることによって一日のサイクルがコントロールされています。メラトニンが増加することによって睡眠が誘発される



のですが、「ロゼレム」はメラトニンの受容体(メラトニンが結合する相手)に 直接作用してメラトニンと同様の効果を発揮して睡眠に誘います。この薬剤は従 来の睡眠薬とは異なり、ふらつきは殆どなく、またいわゆる禁断症状を起こす薬 物依存もないと言われています。但し睡眠効果は弱いので、既に睡眠薬を服用さ れている方にはあまり効かず、初めて睡眠薬を使う方に適しています。当院正式 採用ではありませんが、少し在庫がありますのでご希望の方には処方致します。